

掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター

きんもくせい

やさしい香りのように、広がる安心と医療の輪

特集

心臓血管センター開設
地域を支える医療に、さらなる力を。

病院だより
令和8年7月号
vol.
156



左から堀田院長、宮地企業長、心臓血管センター森川センター長、山名副センター長

Topics

- 季節のコラム：熱中症だけじゃない！夏の困りごと
- 新コーナー「栄養室の健康レシピ」「リハナビ」



心臓と血管の「もしも」に、 この地域で応える 心臓血管センターが始動しました

心臓や血管の病気は、ある日突然、命に関わる状態になることがあります。強い胸の痛みで発症する急性心筋梗塞、突然の胸や背中の激痛で発症する大動脈解離、大動脈瘤破裂^{たいじゅうみゅくはくはつ}、重症の不整脈などは、まさに時間との勝負です。

このたび当院では、心臓血管外科を新たに開設し、循環器内科と心臓血管外科が一体となって診療を行う「心臓血管センター」が始動しました。これまで当院の循環器内科では、500床の総合病院、3次救急を担う病院として、急性心筋梗塞や狭心症に対する心臓カテーテル治療、足の血管病に対するカテーテル治療、不整脈に対するアブレーション^{*}、ペースメーカー治療などを積極的に行ってきました。今回、そこに心臓血管外科が加わることで、この地域で提供できる心臓血管医療はさらに広がります。

※心臓の中にある不整脈の原因となる部分を、細い管（カテーテル）で治療する方法です。

24時間365日、心臓血管の救急に対応

当院では、循環器内科医が夜間・休日問わず院内に常駐し、24時間

副院長・心臓血管センター長・循環器内科統括診療部長

森川 修司 医師

365日対応できる体制を整えています。急性心筋梗塞や重症不整脈など、緊急性の高い心臓血管疾患では、診断や治療の遅れが命に関わります。専門医がすぐに診察し、必要な検査やカテーテル治療につなげられることは、命を救うだけでなく、その後の生活を守ることもつながります。

心臓血管センター開設の大きな意義は、内科と外科が院内で連携し、診断から治療までをより迅速につなげられることです。多くの急性心筋梗塞では、詰まった血管を一刻も早くカテーテルで開くことが重要です。一方で、心筋梗塞に伴う心破裂や、大動脈解離、大動脈瘤破裂など、緊急手術が必要となる病気もあります。これまで、手術が必要な場合は他院へ搬送しなければならぬこともありました。今後は、当院で初期診断から外科治療へつなげられる体制を整えることで、救命につながる可能性が広がります。

心筋梗塞・狭心症を、早く見つけ、早く治す

急性心筋梗塞は、心臓の血管が突然詰まる病気です。強い胸の痛み、冷汗、息苦しさ、吐き気、左肩やあごの痛みなどがある場合は注意が必要で

す。当院では24時間365日、循環器救急に対応し、緊急カテーテル治療を行っています。年間約400件の心臓カテーテル治療を行っており、急性心筋梗塞だけでなく、狭心症や複雑な冠動脈の病気にも対応しています。

足の痛みも、血管の病気かもしれません

動脈硬化は心臓だけでなく、足の血管にも起こります。「歩くと足が痛くなる」「足が冷たい」「足の傷が治りにくい」といった症状は、下肢動脈疾患のサインかもしれません。重症化すると潰瘍や壊疽、下肢切断につながることもあります。当院では年間約100件の足の血管カテーテル治療を行い、足の血流を改善し、歩行機能や大切な足を守る治療に取り組んでいます。

不整脈もカテーテルで治療する時代です

動悸、息切れ、めまい、失神などの原因として、不整脈があります。特に心房細動は、脳梗塞や心不全の原因となることがあり、早期診断と適切な治療が重要です。当院では年間約200件のアブレーションを行い、不整脈の原因となる異常な電気信号をカテーテルで治療しています。また、脈が遅くなる方にはペースメーカー治療を行っており、年間約80件の治療実績があります。体への負担が少ないリードレスペースメーカーにも対応しています。

こんな症状はご相談ください

心臓や血管の病気のサインかもしれません

1 胸の強い痛み・冷汗・息苦しさ



狭心症や心筋梗塞の可能性

2 突然の胸や背中への激痛



大動脈解離・大動脈瘤破裂の可能性

3 動悸・息切れ・めまい・失神



不整脈の可能性

4 歩くと足が痛い・足が冷たい・足の傷が治りにくい



足の血管病の可能性

急な強い症状は救急要請を



119番



ためらわずに

気になる症状は早めに受診・相談を



早めの受診



専門医に相談



早期発見・早期治療



症状がなくても、健診・人間ドックで早期発見を

これからの心臓血管医療を、この地域で

心臓血管外科が加わったことで、心筋梗塞や大動脈の病気、また、カテーテル治療中にまれに起こる緊急事態に対して、循環器内科と心臓血管外科がより早く連携できる体制を目指します。

さらに今後は、突然死につながる危険な脈の乱れを防ぐ治療（植込み型除細動器）や、心不全で弱った心臓の働きを電気力で助ける治療（心臓同期療法）にも対応できるよう、準備を進めています。将来的には、心臓の弁の病気を、胸を大きく開かずにカテーテルで治療する医療（経カテーテル的大動脈弁植込み術）も視野に入れ、地域の皆さまが必要な心臓血管医療をより身近に受けられる体制を整えていきたいと考えています。

症状が出る前から、

心臓血管病を予防しましょう

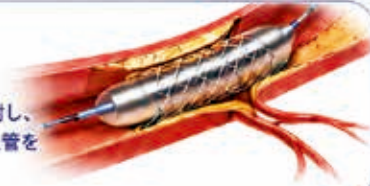
心筋梗塞や足の血管病の多くは、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、腎機能低下などによる動脈硬化が背景にあります。どれだけ治療が進歩しても、最も大切なのは、病気を重症化させないことです。胸の痛み、息切れ、動悸、足の痛み、足の傷が治りにくいなどの症状がある方は、早めにかかりつけ医や当院へご相談ください。症状がない方も、当院の健診・人間ドックを活用していただき、ご自身とご家族の心臓血管病を予防していきましょう。

内科と外科が一体となる、新しい心臓血管医療へ

—— 高度なカテーテル治療を、外科バックアップでより安全に ——

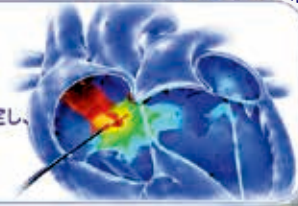
PCI

狭心症や心筋梗塞に対し、カテーテルで心臓の血管を広げる治療



カテーテルアブレーション

不整脈の原因部位を特定し、根治や症状改善を目指す治療



EVT

足の動脈の狭窄・閉塞に対し、カテーテルで血流を改善する治療



ペースメーカー (リードレスを含む)

脈が遅くなる不整脈に対し、体への負担に配慮したペースメーカー治療を提供



外科バックアップ体制



心臓血管外科による手術対応



多職種チームによる連携体制



安全を最優先した治療環境

高度なカテーテル治療を、心臓血管外科が支える。より安全に、より安心して。

この地域で完結する
心臓血管医療へ

心臓や血管の治療は、カテーテル治療の進歩により、体への負担を抑えながら行えるものが増えていきます。当院では、PCI、EVT、カテーテルアブレーション、ペースメーカー治療など、幅広い心臓血管治療に対応しています。(上図参照)

心臓血管センターでは、循環器内科と心臓血管外科が院内で連携し、救急対応から検査、カテーテル治療、必要時の外科的治療まで、患者さまの状態に応じて速やかにつながる体制を整えています。

また、病気を治療するだけでなく、予防・早期発見から治療後のフォローまで一貫して支え、安心して日常生活を送れるよう、再発予防や健康維持も継続して支えていきます。

高度な医療を、できるだけ身近に、そして安心して受けていただくために。この地域の皆さまが「もしも」の時に安心して相談できる心臓血管医療を目指していきます。

※当院の循環器内科は紹介状がなくとも受診できます。ただし、特定初診料がかかります。

予防から手術まで、ひとつのセンターで

中東遠総合医療センターは、心臓の健康をトータルにサポート。予防から治療、退院後のフォローまで、切れ目のない医療を提供します。



健診・予防



生活習慣の改善や健診でリスクを早期に発見し、病気の発症を防ぎます。

早期発見



検査で異常を見つけ、早い段階で適切な治療につなげます。

内服治療



お薬による治療で、症状の進行を抑え、再発を防ぎます。

救急対応



急な症状にも24時間体制で迅速に対応し、命を守る医療を提供します。

カテーテル治療



体への負担が少ないカテーテル治療で、狭くなった血管を広げます。

外科治療



状態に応じて、外科手術でしっかりと治療し、根本的な改善を目指します。

心臓リハビリ



運動療法や生活指導で、体力の回復と再発予防を支えます。

退院後フォロー



退院後も定期的にフォローし、再発予防や健康維持をサポートします。



当センターは、予防・早期発見から救急治療、カテーテル治療、外科治療、心臓リハビリ、退院後フォローまで一貫して支えます。



心臓と血管の健康を守るために

— 心臓血管外科が新しく開設されました —

心臓血管センター副センター長・心臓血管外科診療部長

山名孝治 医師

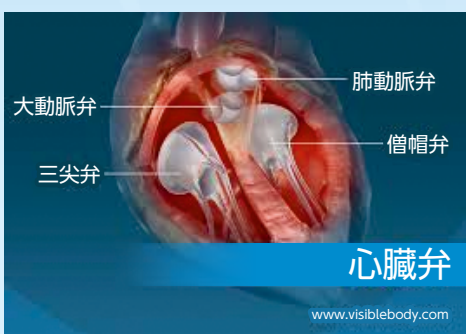
このたび当院では、地域の皆さまの心臓と血管の病気に対して、より専門的で質の高い治療を提供するために「心臓血管外科」を新しく開設しました。これまで、心臓や大動脈の病気は遠方の大病院まで行かなければならないことも多く、患者さんやご家族にとって大きな負担となっていました。当院に心臓血管外科が加わることで、**住み慣れた地域で、安心して治療を受けられる体制**が整いました。

心臓血管外科とはどんな診療科？

心臓血管外科は、心臓や大動脈、手足の血管など、命に関わる重要な臓器の病気を外科的に治療する診療科です。代表的な病気には次のようなものがあります。

- **狭心症・心筋梗塞**…心臓の血管が細くなる、詰まる病気になる
- **心臓弁膜症**…弁が壊れ、血液の流れが悪くなる病気
- **大動脈瘤・大動脈解離**…大動脈が膨らんだり裂けたりする危険な病気
- **下肢動脈閉塞症**…足の血管が詰まり、歩行が困難になる病気

これらは放置すると命に関わることもあります。早期に治療すれば元気に生活続けられる可能性が大きく広がります。



当院で行う主な手術治療

当院では、以下のような心臓・血管手術を行える体制を整えています。

- **冠動脈バイパス手術 (CABG)**
心臓の血管が詰まった場合に、別の血管を使って血流の迂回路を作る手術です。胸の痛みや息切れが改善し、心臓の働きを守ることができます。

● 僧帽弁・大動脈弁の手術

弁膜症に対して、**弁形成術**（壊れた弁を修復する手術）や**弁置換術**（人工弁に取り換える手術）を行います。特に弁形成術は、患者さん自身の弁を残せるため、より自然な血流を保てること特徴です。

● 大動脈瘤・大動脈解離の手術

胸部・腹部の大動脈に対して、人工血管を用いた手術を行います。破裂の危険がある場合は緊急手術にも対応します。

● スtentグラフト治療(血管内治療)

足の付け根から細い管を入れ、体への負担を少なくして大動脈瘤を治療する方法です。高齢の方でも受けやすい治療として注目されています。来年度からのstentグラフト治療実施に向けて血管内治療認定施設の取得準備を進めています。

地域で完結できる医療を目指して

心臓や大動脈の病気は、突然症状が悪化することがあります。そのため、「近くに専門医がいる」ということは、患者さまにとって大きな安心につながります。

当院では、循環器内科、麻酔科、手術センター、集中治療室 (ICU)、救急科など、院内の多職種が連携し、**地域で完結できる心臓・血管治療**を実現する体制を整えています。また、手術後のリハビリテーションや

生活指導も院内で一貫して行い、患者さまが元の生活に戻るまでしっかりサポートします。

医師・スタッフから皆さまへ

心臓血管外科の開設にあたり、私たちは「地域の命を守る最後の砦になる」という思いで準備を進めてきました。心臓や血管の病気は不安が大きいものですが、どんな小さな症状でも気軽に相談していただける診療科でありたいと考えています。

胸の痛み、息切れ、動悸、足の冷えやむくみなど、気になる症状があれば、まずはかかりつけ医にご相談ください。地域の皆さまの健康を守るため、スタッフ一同、力を尽くしてまいります。



熱中症だけじゃない！ 夏の困りごと

暑さによる熱中症だけでなく、夏はさまざまな体調トラブルが増える季節です。毎日の生活で気を付けたい「夏の困りごと」について、専門職が分かりやすく解説します。

■薬剤部

「冷蔵庫なら安心」は間違い？

夏は高温や湿気で薬が傷みやすい季節です。特に粉薬や一包化された薬は湿気の影響を受けやすく、変色や固まりの原因になることがあります。バッグの中や洗面所など、高温・多湿の場所での保管には注意が必要です。

一方、必要以上の冷蔵保存は、結露で薬を傷める場合があります。冷所保存の指示がある一部の薬剤を除き、直射日光と湿気を避けた室温保存で保管しましょう。なお、不安な場合は薬剤師へご相談ください。

POINT

薬は「涼しい部屋」で保管を！



■リハビリテーション室

夜中に足がつる…その原因は？

夏は汗による脱水や、冷房による冷えの影響で、寝ている間に足がつ

ったりするのは避けましょう。強い日焼けは、長期的にはシミ・しわなどの皮膚老化や皮膚がんの原因になることもあります。

広範囲の水ぶくれや発熱がある場合は受診をおすすめします。

POINT

「まず冷やす」が大切です！



■栄養室

「そうめんだけ」に注意！

夏は食欲が落ちやすく、麺類中心の食事になりがちです。しかし、炭水化物だけでは、疲労回復に必要なたんぱく質やビタミンB1が不足しやすくなります。

そうめんには卵や豚肉、納豆などを組み合わせるのがおすすめです。また、「熱中症予防」として塩分を摂りすぎる方もいますが、高血圧のある方では注意が必要です。大量に汗をかく場面以外では、スポーツドリンクの摂りすぎに気をつけましょう。

POINT

麺+たんぱく質を意識！



■泌尿器科 夏に増える「尿管結石」

尿管結石は、尿の成分が固まり「石」になる病気です。夏は汗で尿が濃くなるため、結石ができやすくなります。特に男性に多く、30〜50代でよくみられます。

突然の背中や脇腹の激しい痛み、血尿、吐き気などが代表的な症状です。予防には、コップ1杯程度の水分を数回に分けて飲むことが大切です。尿の色が濃い場合は水分不足のサインです。

発熱や強い痛みが続く場合は早めに受診しましょう。

POINT

尿の色が濃い⇒脱水サイン！



気になる症状等がある場合はまずは、かかりつけ医にご相談ください。当院の受診には原則、紹介状が必要です。

詳しくはホームページをご覧ください。



「心臓リハビリの第一歩―心と体をつなげるリハビリ―
日々のストレッチと練習で心と体を強くする。
「深呼吸・太もも後ろ伸ばし」

〈深呼吸〉



胸を開いて鼻から
息を大きく吸います。



口からゆっくりと
細く長く息を吐き出しましょう。

〈太もも後ろ伸ばし〉



※背中が丸まらないようにしましょう。
※頭を下げすぎると血圧が上がりますので注意しましょう。



ここが伸びる

つま先をたて背筋を伸ばしたまま
体を前に倒しましょう。(息を吐く)

片足を前に出して
膝を伸ばします。

※主治医から運動制限を受けている方は運動をお控えください。
運動は呼吸を止めず、リラックスしながら行いましょう。

リハビリテーション室

ドックだより

24時間いつでも！ WEB予約



人間ドックや各種健診は、スマートフォンやパソコンから簡単に予約できます。

WEB予約対象

- ・人間ドック
- ・協会けんぽ健診
- ・単独乳がん検診
- ・掛川市・袋井市婦人科検診



初めてWEB予約される方の流れ

- ①メールアドレス登録
- ②利用者情報・パスワード設定
- ③ログインして予約
- ④予約完了メールを確認

ご予約
方法は
こちら



※一部のオプション検査はWEB予約の対象外です。
ご希望の方はお問い合わせください。

忙しい毎日の中でも、ご自身やご家族のために
定期的な人間ドック・健診の受診をおすすめします。

お問い合わせ・電話予約

☎AI電話050-1726-7886
(24時間対応)

今すぐ
WEB予約
される方は
こちら



栄養室の

健康 レシピ



トマトおろし酢和え

材 料(2人分)

| | | | | |
|-----|-------|-----|----|------|
| トマト | 60 g | 【A】 | 酢 | 大さじ1 |
| 大根 | 100 g | | 砂糖 | 小さじ2 |
| みつば | お好みの量 | | 塩 | 少々 |

作り方

- ①大根をすりおろし、軽く水気を切る。
- ②トマトを湯むしし、1～2cmの角切りにする。
- ③みつばを長さ2cmに切る。
- ④ボウルに【A】の調味料を混ぜ合わせ、大根、トマト、みつばを入れて和える。
- ⑤器に盛り付けて完成。

おすすめポイント

トマトの旨味とお酢の酸味で少ない塩分でも大満足。
動脈硬化や血圧の上昇を抑え、血管の健康を守る
体にやさしい一品です。

病院食
レシピ
公開中



RECRUIT

地域医療を支える仲間を募集しています

令和9年4月採用 正規職員募集

臨床工学技士

- 試験日** 令和8年8月13日(木)
- 受付期間** 令和8年6月22日(月)～7月31日(金)
- 採用予定日** 令和9年4月1日 ※経験者は応相談

募集予定の職種 救急救命士、医師事務作業補助者、メディカルエイドなど

当院リクルートサイトに
募集情報を順次公開予定



地域に
貢献

研修
充実

安定

子育て
応援

詳細はこちら



医療の未来を担う皆さんを応援します！

当院では、将来の地域医療を支える医療人材の育成に向け、医療系学生を対象とした説明会や病院見学会を開催しています。

○看護学生向け合同説明会に出展します

令和8年8月2日にアクトシティ浜松にて開催される「マイナビ看護学生就職セミナー」に出展します。

若手看護師から、仕事内容や職場の雰囲気について直接話を聞くことができます。

○薬学生向け病院説明会を開催します

夏休み期間中に病院説明会を開催します。若手薬剤師との交流を通じて、病院薬剤師の役割や、やりがいを知ることができます。

見学会・説明会の詳細は当院ホームページをご覧ください。

… 日曜日に乳がん検診を受けられます …

- 日時** 令和8年10月18日(日) 午前8時15分～正午
- 募集人数** マンモグラフィ約50名(完全予約制)※
乳腺エコー約30名 ただし、予約多数の場合は抽選により決定
- 対象者** 20歳以上の女性
※マンモグラフィ検査が受けられない方
①妊娠中の方 ②授乳中の方(卒乳後6ヶ月前の方)
③豊胸(美乳)手術を受けた方
④V-Pシャント、ペースメーカーやポート等が埋め込んである方
⑤グルコースモニタリング(血糖測定器)が装着されている方
- 会場** 中東遠総合医療センター 人間ドック・健診センター
- 検査内容
料金** ①乳腺エコー…………… 3,740円(税込み)
②3Dマンモグラフィ2方向(トモシンセシス)…………… 7,700円(税込み)
③3Dマンモグラフィ2方向(トモシンセシス)+乳腺エコー… 11,440円(税込み)
④マンモグラフィ2方向…………… 5,500円(税込み)
⑤マンモグラフィ2方向+乳腺エコー…………… 9,240円(税込み)
(全て女性技師が担当します。)
- 検査結果** 後日郵送またはWEB送信(4週間ほどお時間を頂きます。)
- 予約方法** 令和8年8月3日(月)から9月11日(金)までにWEBもしくは電話にてお申し込みください。
※AI電話 050-1726-7886(24時間対応)

多忙な平日をお過ごしの方の女性の皆様へ

2026年
10月18日(日)

日曜日に
乳がん検診を
受けられる日です

詳細はこちら



… 第49回医療市民講座を … 開催します

- 日時** 令和8年9月26日(土) 午前10時～正午
- 会場** 当院3階大会議室
- 内容** 【テーマ】知って安心! 脳の病気
～自分と家族を守るために～
講師① 鳥飼 武司 脳神経外科統括診療部長・
脳血管内治療センター長
講師② 守吉 秀行 脳神経内科部長
- 申込み** 令和8年8月17日(月)～9月25日(金)午後5時まで
専用申込フォームまたは電話でお申し込みください。
電話: 経営戦略室 0537-21-5555(代表)

参加費
無料
どなたでも

詳細はこちら



診療実績

2026 4月/5月

| 1日あたりの患者数 | 4月 | 5月 |
|--------------|--------|--------|
| 入院 | 373人 | 385人 |
| 外来 | 1,101人 | 1,159人 |
| 紹介率 | 90.5% | 89.6% |
| 逆紹介率 | 112.0% | 112.0% |
| 病床利用率 | 74.6% | 77.0% |
| 平均在院日数 | 9.0日 | 9.9日 |
| 手術件数 | 505件 | 453件 |
| 救命救急センター受診者数 | 1,312人 | 1,562人 |
| 救急搬送件数 | 515件 | 564件 |



外来担当医表こちらから▶



掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター
https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/

T 436-8555
掛川市富蒲ヶ池1番地の1
TEL 0537-21-5555

